



長後まちだより

まちの輪・ひとの和・みどりの環

長後まちだより 20号

発行日/2021年7月10日

発行/長後地区

郷土づくり推進会議

責任者/市川 勤

事務局/長後市民センター

電話/0466-44-1622

FAX/0466-46-7034

地域公共交通（乗り合い小型車両）の実証運行を計画しています

現在、長後地区郷土づくり推進会議と市は協働して、令和3年度秋の開始を目指し、乗り合いの小型車両による地域公共交通の実証運行を計画しています。（※費用は市が負担で、4人乗りまたは9人乗り車両を予定。）

これまでの経緯

●平成29年度

高齢により車の運転に不安を抱かれる方が増え、新たな交通移動手段を求める声が多く上がり、郷土づくり推進会議では、この課題に取り組むため、「交通手段支援事業部会」を設置しました。

●平成29年度・30年度

交通不便を感じている地域を把握するため、アンケート調査を実施しました。

●令和元年度

アンケートの結果をもとに、郷土づくり推進会議は市に対し、コミュニティバスの導入とその環境整備について早期に実現することを提言。これを受け、

市が交通事業者（バス会社）と協議を行いました。新たな路線を設けるには至らず、地域組織による運行を目指すことになりました。

●令和2年度

仮ルート・停留所を設定するとともに、対象地域の皆さまの利用見込みを把握するための事前アンケートを行いました。

今後について

令和3年度秋の実証運行に向けて準備を進めるとともに、運営主体となる地域組織を立ち上げ、令和4年度以降の本格運行開始に取り組めます。

▶交通手段支援事業部会



実証運行計画（案） ※停留所の場所は現在検討中です。

ルート：

東ルート 長後駅東口→レーベンスクエア→長後駅東口(4.7km)

西ルート 長後駅東口→上谷台公園→長後駅東口(6.5km)

運行日：平日運行

ダイヤ：東ルート、西ルート 午前9時～午後6時

車両：乗車定員 4人または9人を予定

運賃：大人(中学生以上)：300円

小人(未就学児除く中学生未満)：100円

幼児(未就学児)：大人1人につき2名まで無料

地域人材の発掘・育成のための機関紙「つなぐ」を発行しました。

地域人材発掘・育成事業部会では、地域の担い手の発掘と育成に取り組んでいます。

令和2年度も、長後地区のボランティア団体の周知と活動への参加を呼び掛けることを目的とした機関紙「つなぐ」を発行しました。

今回は安全・安心・住みよい長後地区を目指し活動されている5つの団体（生活環境協議会・交通安全対策協議会・防犯協会・防災推進協議会・青少年育成協力会）を掲載させていただきました。今回発行の機関紙「つなぐ」は地区内の各世帯への配布のほか、市民

の家など地区内数か所への掲示を予定しております。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策の一つである人との接触をできる限り減らすという点において、新しい取り組み方を模索しながら事業計画を進めています。

今後も、地域の担い手となる人材と地域で活動されている団体をつないでいけるよう、長後地区の皆様が必要とされる新たな事業を検討していきたいと考えております。

▶地域人材発掘・育成事業部会

5か所の旧跡に歴史解説板を設置しました。

観光・歴史資源開拓事業部会では平成29年度から4年間の計画で、地区内の名所・旧跡に解説板を設置する事業を「歴史散策の会」と連携して行ってきました。

令和2年度は5か所（大日如来・長田稻荷大明神・代官山遺跡・山王神社・白山神社）に解説板を設置しました。

今後は、長後のまちの活性化をテーマとする課題に取り組んでいきます。
※今まで設置した箇所については、藤沢市のホームページでご覧いただけます。

解説板5か所設置 (令和2年度)



1 大日如来



2 長田稻荷大明神



3 代官山遺跡



4 山王神社



5 白山神社

長後 歴史解説板



▶観光・歴史資源開拓事業部会

健康講座（感染症対策・ロコモティブシンドローム予防）を開催しました。

地域に根ざした健康づくりを普及させるために、身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業を実施しています。

令和2年度は、（一財）同友会と連携して、コロナ禍において必要な感染防止対策とロコモティブシンドロームの予防をテーマにした健康講座をこぶし荘と市民センターの2会場で開催しました。令和3年度も実施する予定です。

▶健康づくり普及事業



2020年11月
市民センターで開催の様子



●事業の見直しについて

長後地区郷土づくり推進会議では、これまで10の事業（他の団体への支援事業を含む）に取り組んできましたが、事業全体を見直した結果、例年11月中旬に開催していた「地産地消推進事業（長後を食べよう!）」は廃止することにいたしました。



ふじキュン♡

編集

梅雨の季節、あちらこちらでアジサイの花が咲き始めるなか、人生を振り返ると、長後で暮らして、長後の最大の魅力は残された景観と自然の美しさにある。引地川や境川に沿った土手から見える美しい自然や水鳥は心を潤してくれる。

後記

このような恵まれた自然環境を郷土づくりに生かしたい。

(井上重男)

